

大会長講演

8月10日（土） 13：10～13：40 第1会場（1号館7階 ライフサイエンスホール）

医薬品情報の共育

後藤 伸之（名城大学薬学部 医薬品情報学研究室）

座長：武田 泰生（鹿児島大学病院）

特別講演

8月11日（日） 13：30～14：30 第1会場（1号館7階 ライフサイエンスホール）

ジャーナリズムから見た医薬品情報学に望むもの 人の尊厳と情報の科学性・透明性

沼田 稔（株式会社 医薬ジャーナル社）

座長：望月 眞弓（慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学）

教育講演

8月10日（土） 16：00～17：30 第1会場（1号館7階 ライフサイエンスホール）

未来に向けた医薬品情報学のアジェンダ

－ 医薬品情報コンテンツのあり方と作り方 －

澤田 康文（東京大学大学院 薬学系研究科 医薬品情報学講座）

座長：後藤 伸之（名城大学薬学部 医薬品情報学研究室）

シンポジウム

8月10日（土） 13：40～16：00 第1会場（1号館7階 ライフサイエンスホール）

シンポジウム1

医薬品情報の教育と研究

座長：山田 安彦（東京薬科大学薬学部 臨床薬効解析学教室）

黒澤 菜穂子（北海道薬科大学 医薬情報解析学分野）

S1-1 大学における医薬品情報学教育

横山 晴子（東京薬科大学薬学部 臨床薬効解析学教室）

S1-2 医療機関における医薬品情報学教育

橋田 亨（神戸市立医療センター中央市民病院／神戸学院大学大学院薬学研究科）

S1-3 医薬品情報学のモデル教材開発

小川 雅史（大阪大谷大学薬学部 実践医療薬学講座）

S1-4 大学における医薬品情報学研究

大谷 壽一（慶應義塾大学薬学部 臨床薬学）

S1-5 医療機関における医薬品情報学研究

大野 能之（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

8月11日（日） 9：30～11：50 第1会場（1号館7階 ライフサイエンスホール）

シンポジウム2

医薬品のベネフィット・リスク評価－非臨床と臨床の協働－

座長：菅井 象一郎（日本たばこ産業株式会社）

中村 敏明（福井大学医学部附属病院薬剤部）

S2-1 臨床副作用の予測における非臨床からのアプローチ

： endogenous metabolite 解析によるアセトアミノフェン誘発性肝機能障害の評価法

小林 章男（日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 安全性研究所）

S2-2 Discovery of toxicity biomarkers for translational medicine using metabolomics

Nelson Rhodes（Metabolon, Inc. RTP, NC, USA）

S2-3 ゲノミクスおよびメタボロミクス解析によるバイオマーカー探索

斎藤 嘉朗（国立医薬品食品衛生研究所）

S2-4 臨床現場の病院薬剤師として

政田 幹夫（福井大学医学部附属病院薬剤部）

（総合討論）

苗代 一郎（武田薬品工業株式会社）

8月11日（日） 9：30～11：50 第2会場（6号館4階 情報メディア教室）

シンポジウム3

医療におけるこれからのDI活動を考える -医薬品情報専門薬剤師の存在意義は-

座長：林 昌洋（虎の門病院）

S3-1 医療機関における新医薬品の評価への関わり

大野 能之（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

S3-2 病棟薬剤業務の支援としてのDI活動

谷藤 亜希子（神戸大学医学部附属病院 薬剤部）

S3-3 薬剤師発の研究のキーパーソンとして

渡辺 享平（福井大学医学部附属病院 薬剤部）

S3-4 DI専門薬剤師を取得して

鈴木 信也（一般財団法人 神奈川県警友会けいゆう病院 薬局）

S3-5 医薬品情報専門薬剤師を取得して

横井 正之（パスカル薬局）

8月11日（日） 14：30～16：45 第1会場（1号館7階 ライフサイエンスホール）

シンポジウム4

医療現場でRMPの活用 -医療従事者（薬剤師）と製薬企業の役割-

座長：武部 靖（くすりの適正使用協議会ベネフィット・リスクマネジメント／
リスクコミュニケーション啓発委員会）

S4-1 医薬品リスク管理計画の概要

武部 靖（くすりの適正使用協議会ベネフィット・リスクマネジメント／
リスクコミュニケーション啓発委員会）

S4-2 リスク最小化活動への薬剤疫学の応用事例（1）

大道寺 香澄（くすりの適正使用協議会）

S4-3 リスク最小化活動への薬剤疫学の応用事例（2）

明山 武嗣（くすりの適正使用協議会）

S4-4 医薬品リスク管理計画に対して病院薬剤師の担う役割と戸惑い

下堂 蘭 権洋（鹿児島大学病院 薬剤部）

S4-5 「RMP実施における医療現場（中小病院）での留意点」について

荒木 隆一（市立敦賀病院 薬剤部）

（総合討論）

齋藤 充生（帝京平成大学 薬学部薬学科）

8月11日(日) 14:30～16:45 第2会場(6号館4階 情報メディア教室)

シンポジウム5

医薬品情報の電子化に医療現場ではどのように対応するのか

座長：若林 進(杏林大学医学部附属病院 薬剤部)

飯久保 尚(東邦大学医療センター大森病院 薬剤部)

S5-1 医薬品情報の電子化に医療現場ではどのように対応するのか？

若林 進(杏林大学医学部附属病院 薬剤部)

S5-2 「電子化された医薬品情報を作る立場から」～医薬品データベース設計の背景と目的～

宮村 信輝(メディカルデータベース株式会社)

S5-3 「医療現場の薬剤師の立場から1」～電子化されたデータの信頼性を担保するには～

関谷 泰明(岐阜県総合医療センター 薬剤センター)

S5-4 医療現場の薬剤師の立場から2 ー医薬品情報室において電子化している実例ー

佐藤 弘康(J A北海道厚生連 帯広厚生病院 薬剤部)

S5-5 医療現場の看護師の立場から

中元 雅江(岡崎市民病院)

日本医薬品情報学会・課題研究

8月11日(日) 10:40～11:40 第3会場(1号館4階 401講義室)

日本医薬品情報学会・課題研究

平成23年度研究班研究進捗報告

座長：三木 晶子(東京大学 大学院薬学系研究科 医薬品情報学講座)

若林 進(杏林大学医学部附属病院 薬剤部)

K-1 離島における医薬品の適正使用の実態と情報提供に関する研究

平山 匡彦(社団法人長崎県薬剤師会)

K-2 医薬品の安全性確保対策(PMS)に関する医師、薬剤師、MRの意識調査

小久保 光昭(ファーマ・ウィズダム・コンソーシアム)

K-3 コンコーダンスに活かす医薬品情報-リスクコミュニケーション 医薬品情報共有の実態調査

浅田 和広(鳥居薬品株式会社 安全情報管理部)

一般演題（口頭）

8月10日（土） 13：00～14：00 第3会場（1号館4階 401講義室）

一般口演（1-O-1～1-O-5）

ITを利用した情報マネジメント

座長：中村 光浩（岐阜薬科大学）

初田 泰敏（大阪大谷大学 薬学部）

1-O-1 クラウドを活用した情報共有

小島 悦子（藤田保健衛生大学病院薬剤部）

1-O-2 DI情報活用のためのスマートフォンおよびタブレット型端末向けアプリケーションの開発

久保 泰地（（独）国立病院機構 高知病院 薬剤科）

1-O-3 タブレット端末を用いた医薬情報管理室からの病棟薬剤業務支援とその評価

柴谷 直樹（神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部）

1-O-4 医薬品の安全管理を目的としたタブレット端末の活用

笹野 央（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

1-O-5 DI担当薬剤師と病棟専任薬剤師の情報共有への取り組み

田代 ともみ（陽明会 小波瀬病院薬剤部）

8月10日（土） 14：00～15：00 第3会場（1号館4階 401講義室）

一般口演（1-O-6～1-O-10）

適正使用をサポートするデータベース作成

座長：坂田 洋（春日井市民病院 薬剤部）

高柳 和伸（倉敷中央病院 薬剤部）

1-O-6 文献管理システムEndoNoteを使用したTDMガイドライン「ポリコナゾール」の作成

浜田 幸宏（愛知医科大学病院 薬剤部／愛知医科大学病院 感染制御部）

1-O-7 薬剤科への問い合わせ内容をデータベース管理する新しい試み

駒井 信子（（独）国立病院機構 千葉医療センター 薬剤科）

1-O-8 オープンソースコンテンツマネジメントシステムを用いたDIポータルサイトの構築

野崎 晃（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

1-O-9 電子カルテ端末から利用可能な注射薬配合変化情報検索システムの構築と評価

佐藤 栄里子（京都大学医学部附属病院薬剤部）

1-O-10 重篤副作用疾患別対応マニュアルを横断的に検索可能にする簡易版データベースの作成

徳永 仁（九州保健福祉大学薬学部）

8月10日(土) 14:00～15:00 第4会場(1号館4階 402講義室)

一般口演(1-O-11～1-O-15)

医薬品情報全般

座長: 深津 祥央(京都大学医学部附属病院 薬剤部)

山内 あい子(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 医薬品情報学分野)

1-O-11 後発医薬品採用における選定評価基準の策定(第3報)

滝澤 健司(望星薬局(株))

1-O-12 泉大津市立病院におけるDPCへ変更に伴う後発医薬品導入の取り組み

宇梶 明起(泉大津市立病院 薬剤部)

1-O-13 薬局薬剤師のジェネリック医薬品に対する認識(重視点)とその使用状況の関連性

大鳥 徹(近畿大学薬学部)

1-O-14 評価シート作成による薬審運用の円滑化について

平手 晴佳(藤田保健衛生大学病院薬剤部)

1-O-15 クロピドグレルとPPI併用による心血管イベント発症に関するメタアナリシス

首藤 英樹(福岡大学薬学部)

8月11日(日) 9:40～10:40 第3会場(1号館4階 401講義室)

一般口演(2-O-1～2-O-5)

医薬品情報教育

座長: 小林 道也(北海道医療大学 薬学部 薬剤学講座(臨床薬剤学))

高柳 理早(東京薬科大学薬学部 臨床薬効解析学教室)

2-O-1 一般財団法人住友病院におけるDI実習の現状と問題点について

延藤 勇((一財)住友病院薬剤部)

2-O-2 医薬品情報管理実習における実習プログラムの継続性

中島 章雄(福岡大学薬学部/福岡大学病院薬剤部)

2-O-3 当院DI業務における実務実習生への実習アンケート調査と今後の検討

岡西 康治(奈良県立医科大学附属病院 薬剤部)

2-O-4 医薬品情報実習における質疑応答の課題内容と最近の実例との比較

船木 文子(東京女子医科大学東医療センター薬剤部)

2-O-5 臨床指導薬剤師が必要とする医薬品情報スキルについての調査

半田 智子(昭和大学薬学部)

8月11日（日） 9：40～10：40 第4会場（1号館4階 402講義室）

一般口演（2-O-6～2-O-10）

適正使用・医療安全対策

座長：千堂 年昭（岡山大学病院 薬剤部）

脇屋 義文（愛知学院大学 薬学部）

2-O-6 薬剤師病棟専任制実施による導入前後の疑義照会内容の比較

富田 昌志（釧路赤十字病院 薬剤部）

2-O-7 注射薬の調剤包装単位におけるGS1 DataBar表示実態に関する研究

酒井 順哉（名城大学大学院都市情報学研究科 保健医療情報学）

2-O-8 警告欄のある医療用医薬品添付文書の識別性とCUDに配慮したモデルについて

木下 教之（東京理科大学薬学部）

2-O-9 プレアボイド報告実例の分析

池田 義明（名古屋第一赤十字病院薬剤部）

2-O-10 未然回避件数からみる病棟薬剤業務の実施状況と評価

山岸 利隆（福井県済生会病院 薬剤部）

8月11日（日） 10：40～11：40 第4会場（1号館4階 402講義室）

一般口演（2-O-11～2-O-15）

リスクマネジメント実例

座長：平野 剛（神戸大学医学部附属病院 薬剤部）

真野 泰成（国際医療福祉大学 薬学部）

2-O-11 アゾール系抗真菌剤併用時のワルファリン抗凝固能変動に関する検討

山本 浩貴（京都大学医学部附属病院薬剤部）

2-O-12 トルバプタン錠使用上の注意の改訂に対する実態調査と院内インフォメーションの試行

男全 昭紀（横浜市立みなと赤十字病院薬剤部）

2-O-13 新規薬剤導入時におけるリスク最小化のための情報提供のあり方 - デノスマブを例に -

山本 晴菜（神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部）

2-O-14 病棟薬剤業務実施による医薬品適正使用への影響

加藤 さや香（藤田保健衛生大学病院 薬剤部）

2-O-15 医療機関・薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況に関する調査

平松 彩佳（（独）医薬品医療機器総合機構 安全第一部）

一般演題（ポスター）

ポスター会場（1号館2階・3階・4階ラウンジ）

示説時間 [演題番号奇数]：8月10日（土） 15：00～16：00

示説時間 [演題番号偶数]：8月11日（日） 14：30～15：30

ポスター演題（P-1～P-23）

医薬品情報

- P-1 テキストマイニングを利用した薬品情報室への問合せ情報の解析
白石 奈緒子（岡山大学病院薬剤部）
- P-2 テキストマイニングによる医薬品情報室への質問内容の解析
（8月10日（土）に示説を行います。） 関谷 泰明（岐阜県総合医療センター 薬剤センター）
- P-3 医療関係者から求められる輸液に関する医薬品情報
岩原 良晴（（株）大塚製薬工場 信頼性保証本部 輸液DIセンター）
- P-4 札幌医科大学附属病院薬品情報室における問い合わせ及び情報提供業務の調査
木明 智子（札幌医科大学附属病院薬剤部）
- P-5 服薬指導における情報評価ウェイトに関する実証研究：患者・薬剤師間の比較検討
櫻井 秀彦（北海道薬科大学）
- P-6 コンコーダンスモデルに活かす医薬品情報と患者のアウトカムに関する一考察
野田 政充（（株）望星薬局）
- P-7 保険薬局における医療サービス品質に関する調査研究：患者視点での薬剤師職能評価
我妻 拓弥（北海道薬科大学）
- P-8 インターロイキン遺伝子多型とNSAIDs服用による発癌リスクに関するメタアナリシス
長尾 麻以（徳島大学大学院薬科学教育部）
- P-9 緑茶うがいによるインフルエンザ予防効果-介入試験を対象としたメタアナリシス-
井出 和希（静岡県立大学大学院薬学研究院 医薬品情報解析学講座）
- P-10 残薬確認への取り組み
沖山 尚美（（一社）ぎのわん健康支援センター にしばる薬局）
- P-11 入院時における持参薬管理の取り組み
梅田 道（岐阜市民病院薬剤部）
- P-12 入院患者の処方薬剤数推移から見る薬剤師のリスクマネジメントへの貢献
（8月10日（土）に示説を行います。） 下堂 蘭 権洋（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部）

- P-13 流量制御式輸液ポンプと専用輸液セットの組み合わせにおける投与精度に関する検討
梅村 雅之 (愛知学院大学薬学部)
- P-14 薬学系専門雑誌に掲載された巻頭言のテキストマイニングを用いた年代変化に関する検討
倉田 香織 (東京薬科大学)
- P-15 配合製剤における電子処方と薬歴管理の問題点
三島 裕彦 (特定医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院 薬剤科)
- P-16 患者限定採用医薬品の購入が薬剤部業務に及ぼす影響
伊東 岳 (信州大学医学部附属病院薬剤部)
- P-17 医薬品購入における抗がん剤購入・在庫管理の有用性評価
荒井 哲也 (聖隷横浜病院薬剤課)
- P-18 応需処方せん枚数と在庫品目数の関係の検討
横井 正之 (株式会社パスカルシステム パスカル薬局)
- P-19 アンチ・ドーピング活動の推進に向けての取り組み
金田 光正 ((社福) 聖隷横浜病院薬剤課)
- P-20 「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」と「Global DRO」の評価
大石 順子 ((公社) 日本薬剤師会ドーピング防止対策委員会ワーキンググループ)
- P-21 医薬品申請データ保護と知的財産管理
遠藤 慧 (日本大学大学院知的財産研究科)
- P-22 豪州タバコプレーンパッケージ規制の考察—知的財産的側面から—
高谷 香那 (日本大学大学院知的財産研究科)
- P-23 米国における医薬品特許の管理
加藤 浩 (日本大学大学院知的財産研究科)

ポスター演題 (P-24～P-28)

医薬品情報教育

- P-24 クラウド型支援システムを活用した6年次医薬品情報演習の取り組み
梅田 純代 (北海道薬科大学)
- P-25 学内実習における添付文書の活用
毎田 千恵子 (北陸大学薬学部)
- P-26 医薬品情報学教育のモデル教材開発とその評価
前仲 亮宏 (名城大学 薬学部)
- P-27 医学部5年生のBSL実習における教育ツールとしての病院医薬品集
大塚 誠 (福岡大学病院薬剤部)

P-28 患者シミュレーターを用いた演習による臨床判断能力の養成 -情報活用の実践力の養成-
黒野 俊介 (名城大学薬学部)

ポスター演題 (P-29～P-49)
大規模データベース利用したリスクマネジメント

P-29 レセプトデータを用いたスタチン系薬剤による糖尿病・睡眠障害リスクに関する研究
山崎 耕平 (近畿大学薬学部)

P-30 各種データベースを利用したスタチン系薬剤による排尿障害に関する研究
安 希淳 (近畿大学薬学部)

P-31 薬剤疫学研究のためのナショナルレセプトデータベースの有用性と限界
中野 駿 (名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス分野)

P-32 処方データを用いた循環器用薬の副作用リスクに関する研究
中岡 毅 (近畿大学薬学部)

P-33 病院処方データベースを用いた各種薬剤の副作用リスクに関する研究 (Ⅱ)
下村 芳菜 (近畿大学薬学部)

P-34 結果に焦点を当てた有害事象把握手法の試み
佐藤 智代 (横浜薬科大学)

P-35 有害事象自発報告データベースを用いた抗悪性腫瘍薬の皮膚障害発生状況の調査
梅津 亮冴 (岐阜薬科大学 実践薬学大講座 医薬品情報学)

P-36 日米の有害事象自発報告データを用いたHMG-CoA還元酵素阻害薬の有害事象の解析
村上 兆司 (近畿大学薬学部)

P-37 大規模副作用症例データベースを用いたインフルエンザ治療薬の有害事象の解析
上田 夏実 (岐阜薬科大学 実践薬学大講座 医薬品情報学)

P-38 医療機関におけるRMP策定のための医薬品副作用報告データセットの利用に関する調査
中崎 みづき (春日井市民病院薬剤部)

P-39 日米の有害事象自発報告データを用いたβ遮断薬の薬剤選択の指針に対する安全性の検討
梅本 晃良 (近畿大学薬学部)

P-40 「副作用が疑われる症例報告に関する情報」を用いた市販後に発生する有害事象の解析
梶浦 綾 (姫路獨協大学薬学部)

P-41 薬物性血小板減少症例を対象とした自発報告データベースと文献報告データベースの比較
掛谷 雅之 (名城大学薬学部)

P-42 危険因子および自覚症状からの副作用推測法の検証
鈴木 亮平 (名城大学薬学部)

- P-43 薬物性腎障害の原因薬物の物理化学的性質データに関する研究
矢野 玲子 (金城学院大学薬学部)
- P-44 病院処方データベースを用いた各種薬剤の副作用リスクに関する研究 (I)
田村 美加子 (近畿大学薬学部)
- P-45 医薬品副作用被害救済制度の実態把握
青山 友紀 (近畿大学薬学部)
- P-46 医療用医薬品添付文書における「重大な副作用」の改訂に関する研究
田村 梨紗 (神戸薬科大学)
- P-47 使用成績調査等データベースを用いた薬剤疫学研究の可能性の検討
袴田 潤 (慶應義塾大学大学院薬学研究科)
- P-48 医療情報データベースを用いた薬剤性肝障害検出アルゴリズムの構築
花谷 忠昭 (国立医薬品食品衛生研究所/名古屋市立大学大学院薬学研究科)
- P-49 健康食品の摂取に伴う健康被害報告の因果関係評価のための樹枝状アルゴリズムの構築
一丸 佳代 (静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学)

ポスター演題 (P-50～P-53)

ITを利用した情報マネジメント

- P-50 訪問診療施設における調剤薬局の在宅協働支援関与のための情報伝達の改善
重田 知己 (医療法人社団 双泉会 いずみホームケアクリニック 薬剤科)
- P-51 薬局でのデジタルサイネージの効果について
渡辺 ゆりか (東京理科大学薬学部)
- P-52 北里大学東病院における副作用情報の共有化および再発防止体制の構築
高橋 美由紀 (北里大学東病院薬剤部)
- P-53 病棟業務支援のための総合医薬品情報管理システムの開発
新庄 安宏 ((公財) 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院 薬局)

ポスター演題 (P-54～P-56)

適正使用をサポートするデータベース作成

- P-54 疑義照会データを基に、適正な薬物治療に必要な情報を検討。
塚本 由弥子 (トモニティ (株))
- P-55 薬剤師間の情報共有を目的としたデータベースの更なる活用法の検討
海老根 香里 ((株) 日立製作所 ひたちなか総合病院)

P-56 ハイリスク薬への対応を指向した医薬品情報データベース

大森 大貴 (東京薬科大学 薬学部 情報教育研究センター)

ポスター演題 (P-57 ~ P-69)

リスクマネジメント実例

P-57 医薬品の適正使用における検査実施義務に関する調査および薬剤師の役割

野々垣 知行 (愛知医科大学病院薬剤部)

P-58 炭酸リチウムの適正使用に向けた情報提供のあり方

松下 久美 (菊川市立総合病院薬剤科)

P-59 炭酸リチウム投与患者でのLi血中濃度測定は安全性情報伝達により改善されるか

大村 由紀子 (東京都立小児総合医療センター薬剤科)

P-60 アリスキレンフマル酸塩への注意喚起情報に対する薬剤部の対応と処方実態に関する検討

梅村 拓巳 (公立陶生病院 医療技術局 薬剤部)

P-61 ワルファリンとダビガトラン間の切り替えにおける医師、薬剤師の意識調査

三木 晶子 (東京大学大学院薬学系研究科)

P-62 リスク最小化効果の検証：ウブレチドの用法・用量の変更とコリン作動性クレーゼの発現

浅田 和広 (鳥居薬品(株) 安全情報管理部)

P-63 在宅患者の服用薬剤に起因した副作用等と薬剤師の対処に関する記述研究

高松 誠 (大阪薬科大学・臨床実践薬学研究室)

P-64 アラート機能活用および採用規格見直しによるゾルピデム初回投与量への影響

山村 亮太 (慈恵会 西田病院 薬剤部)

P-65 入院患者における転倒転落対策の取り組み

上野 良夫 (KKR高松病院 診療部 薬剤科)

P-66 地域における薬剤師の役割を踏まえたCDTMの実践基盤に関する調査 第2報

伊藤 かおり (名城大学薬学部)

P-67 手術・検査支援センターにおける薬剤師の役割-医薬品情報担当者の業務展開-

荒木 憲昭 (名古屋第二赤十字病院薬剤部)

P-68 在宅高齢患者の服用薬剤に関する記述研究~Beers Criteriaによる検討~

正野 貴子 (大阪薬科大学・臨床実践薬学研究室)

P-69 在宅患者の服用薬剤に起因した副作用等とその対処に関する記述研究

高田 百合菜 (大阪薬科大学・臨床実践薬学研究室)

ポスター演題 (P-70～P-88)

適正使用・医療安全対策

- P-70 「MRのPMSに関する意識調査Part2」から見えてきた課題
(8月10日(土)に示説を行います。) 若林 進 (杏林大学医学部附属病院薬剤部)
- P-71 「医薬品の安全性確保に対する医師の意識と現状調査」から見えてきた課題
近澤 洋平 ((公財)MR認定センター)
- P-72 薬剤師における医薬品安全性評価に関する認識および実践に関する調査
山口 浩明 (北海道大学大学院薬学研究院 医療薬学部門 医療薬学分野 臨床薬剤学研究室)
- P-73 「医薬品の安全性確保に対する薬剤師の意識と現状調査」から見えてきた課題
青柳 吉博 ((独)国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター)
- P-74 小児薬用量監査システムの有用性の評価と課題
井原 摂子 ((独)静岡県立病院機構静岡県立こども病院薬剤室)
- P-75 市立御前崎総合病院における医療安全に配慮した注射処方箋
中村 靖子 (市立御前崎総合病院薬剤科)
- P-76 ハンディターミナルを用いた注射薬取り揃えにおける認証システム導入と評価
須田 泰記 (大阪市立大学医学部附属病院薬剤部)
- P-77 オーダリングシステムと連動した麻薬管理システムとバーコード認証機能の評価
畑 武生 (大阪医科大学附属病院薬剤部)
- P-78 医薬品によるアナフィラキシーと適正使用情報についての考察
池田 晴美 (済生会中和病院薬剤部)
- P-79 疑義照会データを蓄積して活用する 薬剤師からの情報発信
林 恭子 (名古屋第二赤十字病院薬剤部)
- P-80 ケアマネジャーへの医薬品適正使用に関する研修の評価
榊原 幹夫 ((NPO)医薬品適正使用推進機構)
- P-81 急性薬物中毒における合併症併発の危険因子の探索
梶川 真希 (名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室)
- P-82 文献調査による抗がん剤曝露対策の変遷と我が国の今後の課題
石川 星 (町田市民病院)
- P-83 mTOR阻害剤の免疫抑制作用および抗悪性腫瘍作用における医薬品評価
木村 耕二 (東京薬科大学薬学部臨床薬効解析学教室)
- P-84 α_2 受容体作動薬デクスメトミジン塩酸塩の安全性及び有効性を考慮した投与法の検討
森 直樹 (東京薬科大学)

- P-85 免疫抑制剤、β-ブロッカー、ステロイドの低用量域における全身性副作用の用量依存性
三井 梨恵子 (慶應義塾大学薬学部 臨床薬学講座)
- P-86 薬剤の包装変更における情報収集および発信に関する検討
浦田 元樹 (大野記念病院薬剤部)
- P-87 Altoを加えたメトロニダゾール軟膏の製剤に関する検討と臨床的評価
青木 一夫 ((社福) 三井記念病院薬剤部)
- P-88 オクトレオチドの安定性におよぼす亜硫酸水素ナトリウムの影響
高子 優子 (武庫川女子大学 臨床製剤学)

ポスター演題 (P-89～P-93)

処方実態調査

- P-89 小児の注意欠陥/多動性障害患者に対する医薬品処方
小原 拓 (東北大学病院薬剤部)
- P-90 抗アレルギー薬の使用実態調査およびそのアレルギー性咳嗽への適用に関する疫学的研究
武隈 洋 (北海道大学大学院薬学研究院)
- P-91 配合剤導入によるメリット・デメリットに関する検討②
菊地 主税 (東京理科大学薬学部)
- P-92 リスパダールコンスタ注射液の使用実態と患者の意識調査
細川 幸二 (財団法人 聖マリアンナ会 東横恵愛病院/財団法人 聖マリアンナ会 東横恵愛病院薬剤部)
- P-93 配合剤導入によるメリット・デメリットに関する検討①-薬剤師へのアンケート調査-
大野 みふゆ (東京理科大学薬学部)

ポスター演題 (P-94～P-106)

セルフメディケーション

- P-94 スイッチOTCの市販後調査方法の開発
藤田 優子 (日本大学薬学部)
- P-95 EPA含有製品(特保、OTC、Rx)の臨床試験及び表示等の比較について
齋藤 充生 (帝京平成大学薬学部)
- P-96 一般用医薬品添付文書の記載に関する疑問点
菌部 直子 (富士見台調剤薬局)
- P-97 一般用医薬品添付文書における効能・効果用語の表現方法の変更が理解度に及ぼす影響
伊藤 竜太 (慶應義塾大学医薬品情報学講座)

- P-98 OTC医薬品購入時における問診記録の導入と患者背景の調査
加藤 寿規 (株)ココカラファイン ヘルスケア)
- P-99 OTC医薬品のリスクコミュニケーションの取り組みに関する調査研究
泉澤 恵 (日本大学薬学部)
- P-100 セルフメディケーション行動とOTC医薬品に関する意識調査: 年代,SES,文化による相違
青山 郁子 (東京福祉大学心理学部)
- P-101 OTC医薬品のブランド認知が医薬品選択に及ぼす影響
小山 慎一 (千葉大学大学院工学研究科)
- P-102 春日井市民病院における健康食品・サプリメント摂取状況の実態調査
杉田 亜沙美 (春日井市民病院)
- P-103 HPLC-Ru (bpy)₃²⁺ 化学発光による葉酸含有医薬品及びサプリメントの定量
田淵 直人 (長崎大学薬学部)
- P-104 インターネット上の「葉酸と妊娠」に関する情報の現状
村井 ユリ子 (東北大学大学院薬学研究科 医療薬学教育研究センター)
- P-105 周産期における葉酸摂取の重要性に関する薬剤師の認識
酒井 隆全 ((一社)愛知県薬剤師会 薬事情報センター/名城大学薬学部医薬品情報学研究室)
- P-106 葉酸と出生児の神経管閉鎖障害リスク抑制に関する薬学生の認識
大原 宏司 (奥羽大学薬学部医療薬学分野)

ランチョンセミナー

8月11日（日） 12：00～12：50 第1会場（1号館7階 ライフサイエンスホール）

ランチョンセミナー1

原薬と製剤工夫の観点から考える最適な薬剤選択

松山 賢治（近畿大学 薬学部医薬品評価解析学分野）

座長：政田 幹夫（福井大学医学部附属病院）

共催：バイエル薬品株式会社

8月11日（日） 12：00～12：50 第2会場（6号館4階 情報メディア教室）

ランチョンセミナー2

多発性硬化症の新しい治療薬～フィンゴリモドの適正使用～

中島 一郎（東北大学病院神経内科）

座長：林 昌洋（虎の門病院）

共催：田辺三菱製薬株式会社

8月11日（日） 12：00～12：50 第3会場（1号館4階 401講義室）

ランチョンセミナー3

医薬品適正使用のための根拠に基づくアプローチ

山本美智子（昭和薬科大学 医療薬学教育研究センター）

座長：折井 孝男（NTT東日本関東病院）

共催：株式会社テクノミック